

資料 2

チャレンジ事業

令和2年6月22日
総合計画審議会

	5K	項目(施策)	チャレンジ10施策	チャレンジ事業	担当課
	健康	健康・医療	①医療・健診・介護の連携(データの活用)	—	—
1	健康	健康・医療		健康づくり環境整備事業	健康推進課
2	健康	スポーツ	②スポーツ施設環境の整備/スポーツの振興	レジャープール改修事業	スポーツ課
3	環境	都市基盤(住環境)		空き家対策事業	建築課
4	環境	生活安全		防犯灯LED化促進事業	市民安全課
5	環境	都市基盤(交通)	③幹線道路の整備促進	主要道路新設改良事業 市道夜這池西山線	土木課
6	環境	都市基盤(交通)		交差点改良事業(根崎町北交差点)	
7	経済	商工業	④ものづくり産業の振興(工業団地の整備/企業誘致)	企業立地推進事業	商工課
8	経済	商工業		あんじょうプレミアムお買物券事業	
9	経済	観光		デンパークフローラルプレイス改修事業	農務課
10	経済	都市基盤(市街地)	⑤コンパクトシティ型都市構造の形成	安城南明治市有地有効活用事業	南明治整備課
11	きずな	防災・減災		感震ブレーカー設置補助事業	危機管理課
12	きずな	防災・減災		住宅耐震改修補助事業(ブロック塀等撤去費補助金)	建築課
13	きずな	地域福祉	⑥高齢者の地域生活支援(地域包括ケアシステム)	地域包括ケアシステムの推進	高齢福祉課
14	きずな	生涯学習	⑦新たな図書館サービスの展開(整備/まちなかの賑わい創出)	アンフォーレを核としたまちなか賑わい創出事業	アンフォーレ課
15	きずな	生涯学習		芸術鑑賞会・市民ギャラリー企画展事業	文化振興課
16	子ども	子育て	⑧子育て支援の充実	保育園事業(中規模改修等工事)・民間保育所等推進事業	保育課
17	子ども	子育て		保育園事業(ICT化推進)	
	子ども	学校教育	⑨学び合いやかかわり合いを重視した次世代を担う児童生徒の育成	—	—
18	子ども	学校教育		部活動支援事業	学校教育課
19	子ども	学校教育		小中学校普通教室空調設備設置事業	総務課
20	—	行財政運営	⑩新しい公共のまちづくり	みらい協創フォーラム・ネーミングライツの実施	企画政策課
				20事業	

(継続)	20款	05項	30目	生活習慣病対策費	分野: 健康	子育て健康部健康推進課 健康推進係 76-1133
	健康づくり環境整備事業				[令和元年度事業費] 7,079 千円	

健康意識を高め、市民一人一人が主体的に健康づくりに取り組める環境整備を進めます。

事業目的

『知りたくなる機会の創出』、『参加したくなる機会の創出』と『行動したくなる環境の整備』を柱に、市民一人一人が主体的に健康づくりに取り組めるよう、行動意欲を高める『きっかけ』をつくりました。

知りたくなる機会の創出

あんじょう健康大学

「いつまでも健康で幸せに生きよう！」をスローガンに、安城更生病院・八千代病院の医師などの専門家による、健康づくりのきっかけになる講座をアンフォーレにて開催しました。

開催回数:4回 受講者数:170人

健康づくりきっかけ教室

アンフォーレ3階健康支援室を会場に、健康づくりサポーターを講師に招き、教室を開催しました

開催回数:99回 参加者数:2,362人

参加したくなる機会の創出

健康づくりDay

「いのち支える安城計画」のスタートとして、「こころの健康」をテーマに、映画鑑賞や体験ブースなどを通して、こころの健康に関する情報を提供するイベントを開催しました。

開催日:令和元年9月22日(日) 参加者数:1,838人

ケンサチウェルネスフェスタ

本市にゆかりの深い事業所との共催で、健康づくりのきっかけとなるイベントを開催し、健康づくりのPRを行いました。

開催日:令和元年7月24日(水) 参加者数:1,349人

行動したくなる環境の整備

あんじょう健康マイレージ

だれでもすぐに始められる健康づくり活動に対して、インセンティブをつけ、健康づくりに取り組むきっかけをつくりました。

実施期間:令和元年6月～令和2年2月 延べ参加者数:2,353人

健康測定会

アンフォーレ健康支援室をはじめ、市内のイベント会場・ショッピングモールなどで健康測定会を開催しました。

開催回数:33回 参加者数:2,718人



健康づくりに取り組む市民を応援！ 健康づくりサポーター事業、食育メイト養成・育成事業 など

(継続)	50款	30項	25目	レジャープール管理費	分野: 健康	[令和元年度事業費] 532,553 千円 (内繰越額202,553)	生涯学習部スポーツ課 施設管理係 75-3535
	レジャープール改修事業						

プール内天井等の非構造部材を耐震化するとともに、老朽箇所を改修しました。

1 事業概要

平成11年に竣工したレジャープールのプール内の天井等の非構造部材を耐震化するとともに、屋根や外壁などの老朽化した箇所を改修しました。令和元年度は、2か年継続工事の2年目となり、改修工事が完了し、リニューアルオープンしました。

2 主な改修内容

プールエリア天井等非構造部材の耐震化、屋上防水改修、外壁改修、外部建具改修、空調機更新、換気設備更新、空調ダクト脱落防止措置、プールろ過ポンプ更新

3 リニューアルオープン 令和元年7月20日

(リニューアルオープン及び開館20周年イベント「プールフェス」の開催: 令和元年7月20日)

4 事業実績(平成29年度～令和元年度)

年度	実施内容	事業費
平成29年度	改修設計委託	17,820 千円
平成30年度	改修工事(主体・管空調・電気)	3,106 千円
令和元年度	改修工事(主体・管空調・電気)	532,553 千円



天井耐震化(25mプール)



天井耐震化(流水プール)



20周年記念ペットボトルアート



リニューアルオープンテープカット

(継続)	40款	30項	05目	建築総務費	分野: 環境	
	空き家対策事業				[令和元年度事業費]	建設部建築課 建築指導係 Tel 71-2241
					12,393 千円	

適切な管理が行われていない空き家が、周辺の生活環境に深刻な影響を及ぼすことから「空家等対策計画」に基づき、空き家に関する対策を総合的かつ計画的に行います。

1 事業概要

平成26年11月に「空家等対策の推進に関する特別措置法」が制定され、平成27年5月に全面施行されたことを背景に、平成28年11月に「安城市空家等対策協議会」を設置しました。

この協議会の専門的見地からの意見を参考に、空き家の分類やランク付けを行い、平成30年3月に「安城市空家等対策計画」を策定し、この計画に基づき空家対策事業を推進します。

行政代執行前



2 令和元年度事業実績

- ・空家情報等の管理
- ・空家所有者へ啓発(ダイレクトメール)
- ・空家相談会の開催(令和元年8月31日)
- ・75歳以上の一戸建て世帯への啓発(ダイレクトメール)
- ・危険な状態の空き家(ランク5)への行政代執行(1件)

行政代執行後



問題のある空き家件数の推移					
空き家の分類		問題のある空き家件数			
ランク		H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
5	危険な状態(敷地外へ影響大)	3件	3件	3件	2件
4	危険な状態(敷地外へ影響小)	5件	5件	3件	3件
3	問題がある	26件	21件	17件	13件
2	管理が行き届いてない	126件	101件	86件	75件
合計		160件	130件	109件	93件

(継続)	10款	05項	70目	交通防犯推進費	分野: 環境	[令和元年度事業費] 1,533 千円	市民生活部市民安全課 市民安全係 Tel 71-2219
	防犯灯LED化促進事業						

防犯効果をより高めると同時に、町内会の設置・維持管理に関する負担軽減と大幅な予算削減を図るため、防犯灯の一括リースによるLED化を促進します。

1 事業実績
(令和元年度)

防犯灯LED化を促進するため、町内会が所有・管理する蛍光防犯灯約3,400基を、令和元年度にリース方式により、LED防犯灯へ一括切換えしました。

【リース期間】 令和2年度～令和11年度

【事業費及び事業内容】

(千円)

項目	事業費	内容
リースLED防犯灯移設費等	72	リース設置したLED防犯灯の移設等に要する費用
防犯灯設置補助金	1,461	移設・故障等の緊急時に対応する防犯灯設置補助金
累計	1,533	

2 蛍光防犯灯の一括リース方式によるLED化のメリット

- (1)従来より明るくなることによる防犯効果の向上
- (2)電気料金の大幅な削減
- (3)LED防犯灯への切換え費用の大幅な削減
- (4)補助金申請手続きや維持管理事務などの町内会負担の大幅な軽減
- (5)二酸化炭素排出量の削減による環境負荷の軽減



3 今後のスケジュール予定

- (1)既設LED防犯灯(約3,500基) → 令和3年度から市にて保守管理を実施
※既設LED防犯灯とは、令和元年度一括リースによりLED灯へ切り換えた防犯灯以外のLED灯。
- (2)新設LED防犯灯(約2,000基) → 令和3年度にリースにより一括設置

(継続)	40款	10項	20目	道路新設改良費	分野: 環境	建設部土木課 道路建設係 Tel 71-2239
	主要道路新設改良事業 (市道夜這池西山線)				[令和元年度事業費] 76,000 千円	

幹線道路へのアクセス機能の向上を図るための道路整備を行います。

1 事業概要

「市道 夜這池西山線」は、愛知県事業として進められている県道小垣江安城線バイパスへの交差市道として、円滑な交通の流れを担う路線である。当該箇所の整備により、国道23号、国道419号へのアクセス道路としての利便性が向上し、円滑な交通処理を図るための道路整備を行うものである。

2 令和元年度事業費

道路改良工事[L=360m] 76,000千円

3 全体計画

事業期間

平成28年度～令和元年度

事業内容

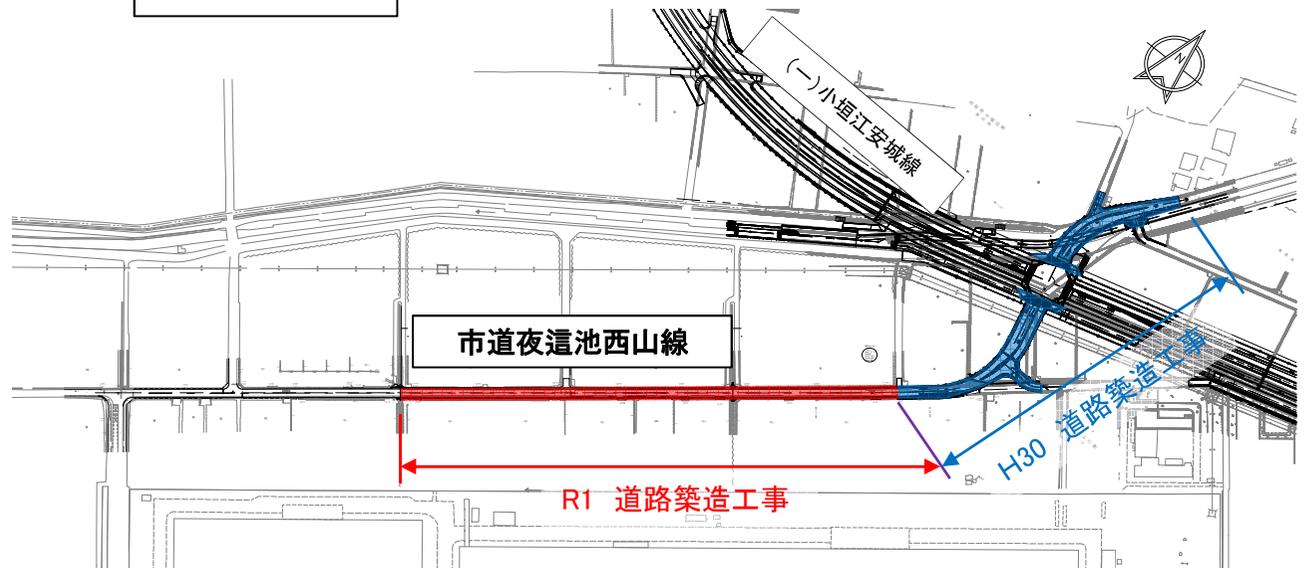
平成28年度 道路詳細設計、用地測量

平成29年度 用地買収

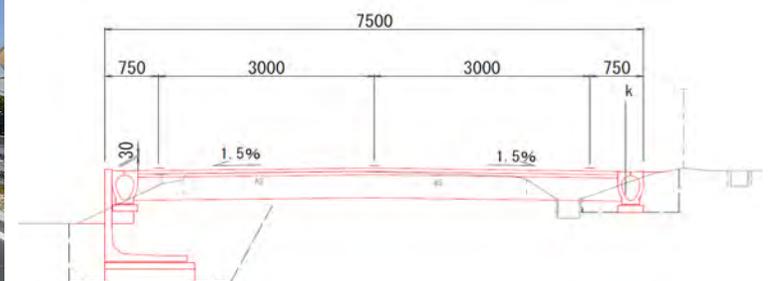
平成30年度 道路築造工事[L=330m]

令和元年度 道路築造工事[L=360m]

平面図



標準横断面図



(継続)	40款	10項	25目	交通安全施設整備事業費	分野: 環境	建設部土木課 道路安全係 TEL 0566-71-2239
	交差点改良事業 (根崎町北交差点)				[令和元年度事業費] 104,900 千円	

交差点の慢性的な渋滞の緩和と安全対策のために右折帯及び歩道の設置を進めます。

1 事業概要

市道東端城ヶ入線「根崎町北交差点」の慢性的な渋滞緩和として右折帯の設置を行い、交通環境の改善を図りました。また、交通量の多い幹線道路として歩道の整備も同時に行い、歩行者等の安全対策を図りました。

2 令和元年度事業費

交差点改良工事【L=390m】 104,900 千円

3 全体計画

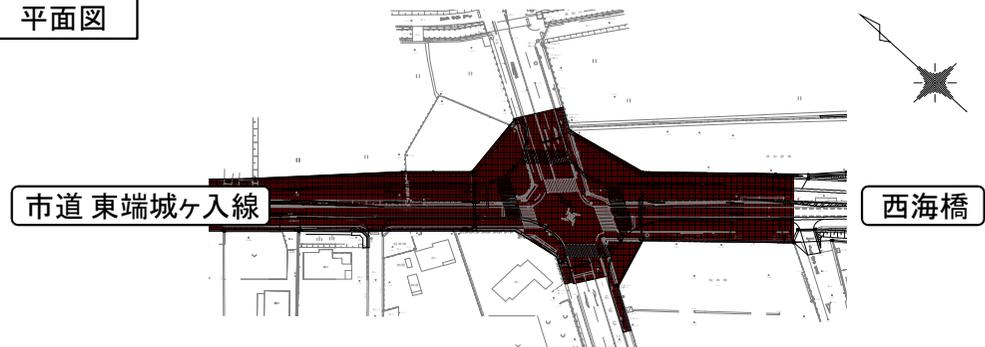
事業期間

平成23年度～令和元年度

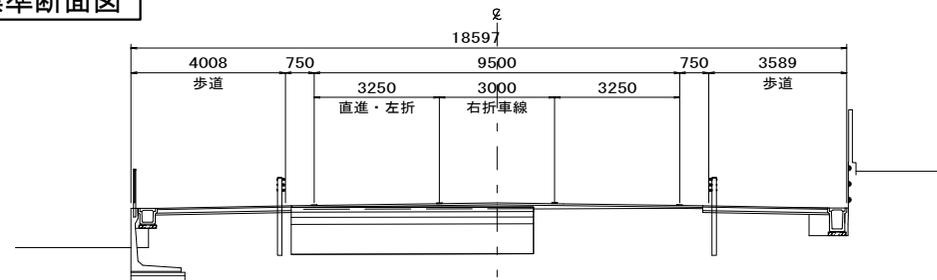
事業内容

- 平成23年度 交差点予備設計、道路予備設計
- 平成24年度 交差点詳細設計、道路詳細設計
- 平成25年度 用地測量、物件調査
- 平成26年度 用地測量、物件調査
- 平成27年度 用地買収、物件補償、詳細設計修正
- 平成28年度 用地買収、物件補償
歩道整備工事(西工区)
- 平成29年度 詳細設計修正、用地買収
歩道整備工事(東工区)
- 令和元年度 交差点改良工事【L=390m】

平面図



標準断面図



改良前



改良後



(継続)	35款	05項	10目	分野: 経済	産業振興部商工課 TEL 71-2235
	企業立地推進事業			[平成31年度事業費] 386,705 千円	

長期的な財政基盤の強化を図るため、既存企業への支援と新規産業の誘致策を推進します。

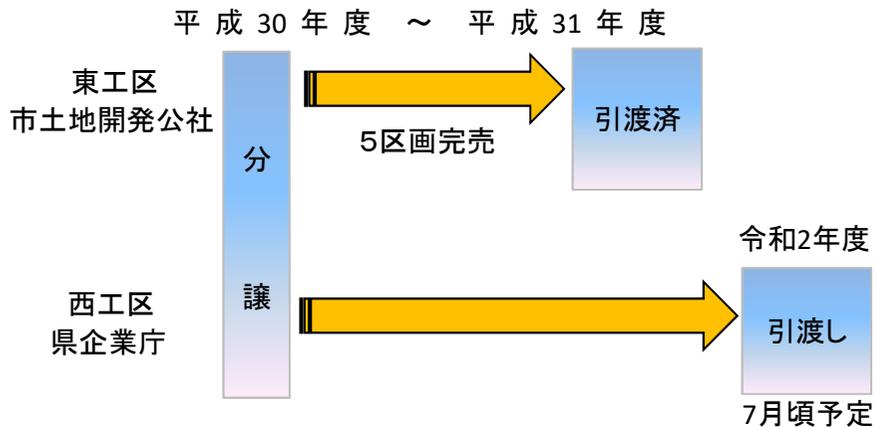
1 事業概要

本市の産業活力を維持増進し、安定的で持続可能な市政運営の実現、新たな雇用の場の創出のため、周辺地域の生活環境との調和を保ちつつ、既存企業の流出抑制や新規企業の誘致など、企業立地の促進を図ります。

2 実施内容【平成31年度実績】

廃棄物処理業務委託料 386,705千円
西工区における地下埋設物処理を実施

3 スケジュール



全 景



東工区



(新規)	款	項	目	商工業振興費	分野: 経済	産業環境部商工課 商業観光係 Tel 71-2235
	あんじょうプレミアムお買物券事業				[令和元年度事業費] 95,718 千円	

消費税増税による消費に与える影響を緩和するため、安城商工会議所が実施するあんじょうプレミアムお買物券発行事業の経費等を補助しました。

1 事業目的

令和元年10月に実施された消費税及び地方消費税の増税による消費への影響を緩和するため、安城商工会議所が実施するあんじょうプレミアムお買物券発行事業の経費等を補助しました。

2 事業概要

(1) 事業主体

安城商工会議所

(2) 購入対象者

18歳以上の安城市在住の方

(3) 商品券利用期間

令和元年10月1日(火)～令和2年2月29日(土)

(4) 商品券の内容

	販売額	発行額(プレミアム率)	利用可能店舗・事業所
商店券	1.5億円	1.8億円(20%)	事前登録された個人店269店
量販店券	2.5億円	2.75億円(10%)	事前登録された大型量販店・チェーン店88店
建設券	1.5億円	1.8億円(20%)	事前登録された建設関連事業所90社
合計	5.5億円	6.35億円	

(5) 予算

・あんじょうプレミアムお買物券発行事業補助金: 95,718千円
(プレミアム分費用、商品券印刷、広告宣伝費等の事務経費)



(継続)	30款	05項	25目	産業文化公園管理費	分野: 経済	
	デンパークフローラルプレイス改修事業				[令和元年度事業費] 1,036,052 千円	産業環境部農務課 農政係 TEL 71-2233

**安城産業文化公園デンパークの大温室「フローラルプレイス」を改修し、
新たな癒しと賑わいの空間を創出しました。**

1 事業概要

フローラルプレイスの改修を行い、新たな魅力を創出することで幅広い年代が楽しめるデンパークとして整備しました。
また、「恋人の聖地」のシンボル塔を設置し、愛を深めるデンパークの象徴となるようリニューアルしました。

2 主な工事内容

耐震・劣化対策、空調更新、外壁改修、屋根改修、加圧給水ポンプ更新、自動火災報知機受信機更新、空調熱源更新
「恋人の聖地」シンボル塔の設置

恋人の聖地シンボル塔



フローラルプレイス

(継続)	40款	20項	50目	南明治第一土地区画整理事業	分野: 経済	都市整備部南明治整備課 TEL 71-3751
	安城南明治市有地有効活用事業				[令和元年度事業費] 180,515 千円	

安城市の中心商業・業務地にふさわしい魅力と活力にあふれた都市拠点を形成するため、安城南明治土地区画整理事業内の市有地を活用し、土地利用の共同化及び高度利用化の誘導を図ります。

コンパクトシティ型都市構造の形成に寄与する主要事業実績

安城南明治市有地有効活用事業

○事業目的

安城南明治第一土地区画整理事業区域内の土地利用の共同化及び高度利用化を図り、JR安城駅周辺にふさわしい都市拠点形成施設を整備します。

○事業実績

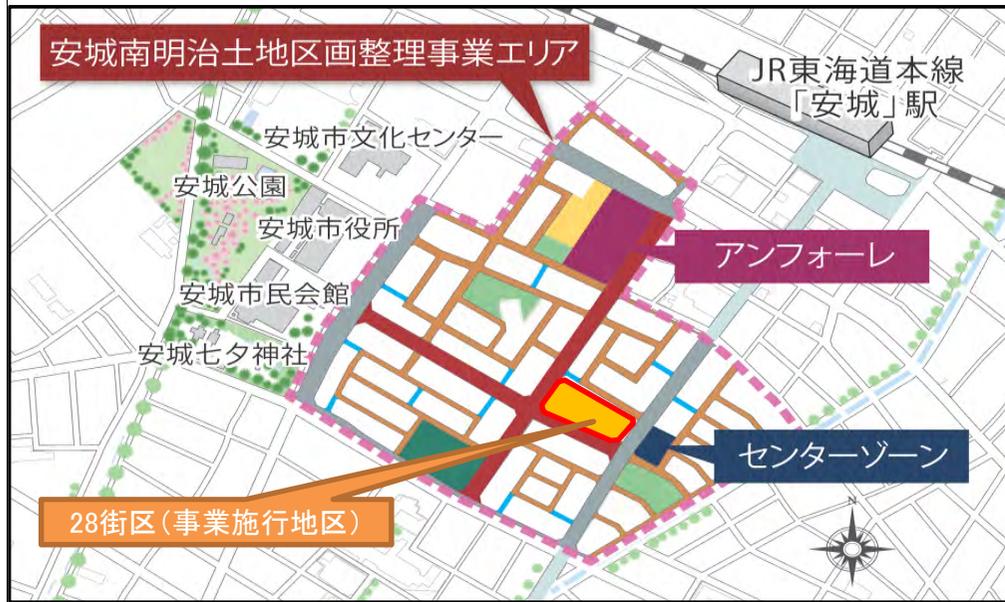
28街区については、平成30年度に事業者決定、市有地売却を行い、令和元年7月から工事着工しました。

※主な事業内容

- ①優良建築物等整備事業補助金
(工事監理費及び共同施設整備費)
176,800千円

※優良建築物等整備事業とは、市街地の環境改善、良好な市街地住宅の供給等の促進を目的に、建設設計費、共同施設整備費等を補助対象として、費用の2/3(国1/3、県1/6、市1/6)以内の額を補助する事業です。

- ②市有地有効活用事業支援業務委託料
3,715千円



事業者(代表企業): 角文株式会社
建物概要: 住宅、オフィス、ホテル、店舗
令和元年7月着工、令和4年3月竣工予定

イメージ図



(継続)	45款	05項	15目	防災費	分野: きずな	[令和元年度事業費] 770 千円	市民生活部危機管理課 地域防災係 71-2220
	感震ブレーカー設置補助事業						

**感震ブレーカー設置補助事業の促進のため、
補助対象区域を拡大します。モデル地区を選定し説明会等を開催します。**

1 事業概要

地震火災の出火原因の半数以上は電気に起因するといわれています。
感震ブレーカーは地震を感知すると電気の供給を遮断し、通電火災を防ぎます。
感震ブレーカー設置補助事業は、平成28年度から施行しています。また令和元年度から全市域が補助対象となりました。
高棚町と箕輪町の2町内会をモデル地区とし、通電火災防止のための感震ブレーカー設置に取り組んでいきます。

2 事業実績

- ・全市域に補助対象を拡大（これまでは人口集中地区(DID)のみ対象)
- ・モデル地区で説明会を実施
高棚町内会 令和2年1月31日(金)19:00～
箕輪町内会 令和2年2月 7日(金)19:00～

*** 補助対象となる感震ブレーカー ***

「分電盤タイプ」

- ・震度を感知すると、警報を(3分間)鳴らした後、主幹ブレーカーを落とします。
- ・価格は5～8万円と高価です。
- ・電気工業者の取り付けが必要です。(約1～2万円)

※在宅用医療機器など継続して通電が必要な場合は注意が必要です。

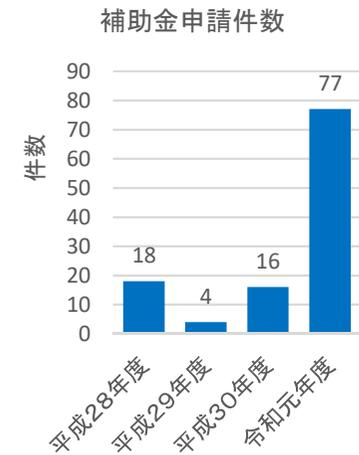


後付け型「感震リレータイプ」

- ・既存の分電盤に外付けするタイプ！注意！漏電ブレーカーが設置されている場合に設置可能です。
- ・震度を感知すると、主幹漏電ブレーカーに疑似漏電信号を発信して電気を遮断します。
- ・震度を感知すると、警報を(3分間)鳴らした後、ブレーカーを落とします。
- ・価格は2～4万円と比較的安価です。
- ・電気工業者の取付が必要です。(約1～2万円)



**補助対象地域を拡大したこと、
説明会を行ったことで
補助金申請件数が大幅にアップ**



(拡充)	45款	05項	15目	防災費	分野: きずな	
	住宅耐震対策補助事業 (ブロック塀等撤去費補助金)				[令和元年度事業費]	建設部建築課 建築指導係 Tel 71-2241
					7,004 千円	

危険なブロック塀等を減らすことを目的に、民間のブロック塀等に対し撤去費補助金を交付します。

1 事業概要

平成30年6月18日に発生した大阪府北部を震源とする地震によるブロック塀の倒壊被害を受け、危険なブロック塀等を減らすことを目的に、民間のブロック塀等を対象に、平成30年10月からブロック塀等撤去費補助金制度を創設し、補修や撤去を促します。

撤去前



2 ブロック塀等撤去費補助制度の概要

- ・対象となるブロック塀等
地盤面からの高さが1m以上かつコンクリートブロック、レンガ、大谷石等の組積造の塀
- ・対象となる工事
公共施設の敷地、道路、通学路に面するブロック塀等の撤去
- ・補助金額
公共施設、道路に面する部分
撤去に要した経費と延長1m当たり1万円を乗じた額のいずれか少ない額の1/2(上限10万円)
通学路に面する部分
撤去に要した経費と延長1m当たり1万円を乗じた額のいずれか少ない額の3/4(上限15万円)

撤去後



3 実績

	H30年度	R元年度
件数	100件	84件
補助金額	8,335千円	7,040千円

(拡充)	15款 15款 15款	05項 10項 15項	介護予防・生活支援サービス事業費 一般介護予防事業費 総合相談事業費、任意事業費、在宅医療・介護連携推進事業費、生活支援体制整備事業、認知症施策推進事業費【介護保険事業特別会計】	分野 ぎずな
	地域包括ケアシステムの推進			[平成31年度事業費] 246,000 千円
				福祉部高齢福祉課 地域支援係 71-2264

いつまでも地域で生活できるように、地域見守り活動などの住民活動を専門職が支え、地域の課題を自ら解決することができる「安城市版地域包括ケアシステム」を推進します。

事業実績

1. 医師、歯科医師、薬剤師が参加した地域ケア地区会議及び地域住民と医療・福祉等の専門職が同席した地域ケア会議を開催しました。
令和元年度 地域ケア地区会議32回、地域ケア個別会議407回

2. 市内各地域で展開する見守り活動に加え、市内事業者・団体と協定を締結した「安城市高齢者見守り事業者ネットワーク」協定の拡大により、高齢者等の重層的な見守り活動を充実しました。
平成28年度(初年度) 17事業者 ⇒ 令和元年度 40事業者
また、地域の互助力強化や生活支援サービスの創出を行う「地域見守り協力店」が大幅に増加しました。
平成29年度 250店 ⇒ 令和元年度 654店

3. 元気な高齢者が生き生きと活動し、支援が必要な高齢者を支える活動を支援しました。
住民主体の月1回以上の通いの場 (平成27年度80件 ⇒ 令和元年度183件) ※平成30年度は県内第3位！
住民主体の生活支援サービス実施団体 (平成28年度0件 ⇒ 令和元年度9件)
元気な高齢者と人手の不足する高齢者サービス業との就労マッチングを実施しました。(参加者120名)
高齢者向けの生活支援サービスの担い手となる「あんじョイ生活サポーター」を養成しました(27名、累計290名)

4. 会議や研修会を重ねることで医療・介護・福祉の専門職の顔の見える関係づくりを推進しました。
令和元年度 地域ケア推進会議 9回、在宅医療介護連携推進のための研修会 12回 750人参加
安城市医師会、更生病院、八千代病院と協働で多職種ワークショップを実施しました(参加者110名)
安城市医師会と協働で在宅医療・介護連携を啓発するシンポジウムを実施しました(参加者160名)

5. あいちオレンジタウン構想「認知症に理解の深いまちづくり」モデル事業を実施しました。
児童クラブに通う夏休み中の小学生向けに認知症サポーター養成講座を新たに実施しました。(受講者375人)
地域包括ケア市民フォーラムを安城市医師会、更生病院、八千代病院と協働で開催しました。(参加者550名)
テーマ「明日を素敵に生きるには～認知症は神様からのプレゼント」講師 安藤 和津
認知症の方に優しい取り組みを積極的に行う「あんじョイ認知症“思いやり企業”」の認定を開始しました。(15社)
若年性認知症のご本人とご家族を支援するつどいをNPO法人ingと協働で実施し、
交流の場である「たんぼぼカフェ」を定期的開催、企業向けの勉強会、市民向け啓発イベントを実施しました。



通いの場活動



若年性認知症のつどい

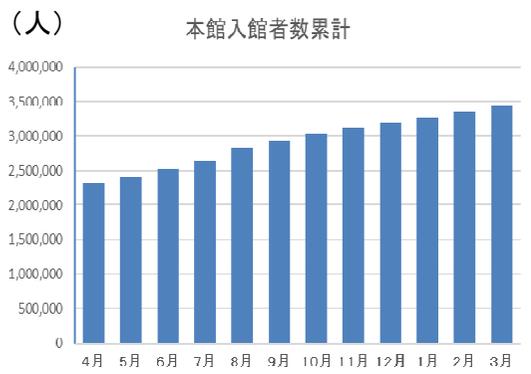


認定ステッカーの公募103点の中から、認知症ご本人の作品が選ばれました。

(継続)	10款	05項	73目	アンフォーレ費	分野: きずな	
	アンフォーレを核としたまちなか賑わい創出事業				[令和元年度事業費]	40,457 千円

アンフォーレを中心に様々なイベントを開催し、アンフォーレ及び中心市街地の賑わいを創出しました。
施設利用者へのコーディネートやまちなか回遊事業を実施し、多様な交流と活動を促進しました。

賑わい創出イベント		令和元年度は、年間で26の賑わい創出イベントを実施し、多数のご来場をいただきました。	
<p>【アンフォーレ感謝祭2019】</p>  <p>アンフォーレオープン2周年を記念して、6月1日・2日に、市民とともに2周年をお祝いするイベントを開催しました。イベントは、毎月1日に開催しているアンフォーレマルシェとコラボして実施され、たくさんの方が来場されました。また、周辺商店街協力のもち投げや、市民参加のステージイベントなども実施され、大いに盛り上がりました。</p> <p>【来場者数】 1日目: 8,630人 2日目: 10,600人</p> 		<p>【キッチンカーニバル 4/30】</p>  <p>例年まちなかの人手が少なくなるGW中に初めて集客イベントを開催しました。</p>	
		<p>【わんマル安城 4/7,10/13】</p>  <p>全国各地から犬好きが集まる愛犬家のイベントを開催しました。 来場者数: 計2回 12,000人</p>	
		<p>【新美南吉生誕祭 7/30】</p>  <p>生誕をお祝いし、南吉関連の活動発表やステージイベント等を開催しました。</p>	
		<p>【エントランスライブ 毎月第2土曜日】</p>  <p>図書館が閉館後のエントランスを活用しライブを開催しました。 来場者数: 計11回 1,450人</p>	

アンフォーレ来館者数																											
アンフォーレの来館者数は順調に増加し、令和元年10月には、300万人に到達しました。																											
 <p>祝 入館者300万人達成! 令和元年10月26日</p>	<p>(人)</p> <p>本館入館者数累計</p>  <table border="1"> <caption>本館入館者数累計 (人)</caption> <thead> <tr> <th>月</th> <th>累計人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4月</td><td>2,300,000</td></tr> <tr><td>5月</td><td>2,400,000</td></tr> <tr><td>6月</td><td>2,500,000</td></tr> <tr><td>7月</td><td>2,600,000</td></tr> <tr><td>8月</td><td>2,750,000</td></tr> <tr><td>9月</td><td>2,900,000</td></tr> <tr><td>10月</td><td>3,000,000</td></tr> <tr><td>11月</td><td>3,100,000</td></tr> <tr><td>12月</td><td>3,200,000</td></tr> <tr><td>1月</td><td>3,300,000</td></tr> <tr><td>2月</td><td>3,400,000</td></tr> <tr><td>3月</td><td>3,500,000</td></tr> </tbody> </table>	月	累計人数	4月	2,300,000	5月	2,400,000	6月	2,500,000	7月	2,600,000	8月	2,750,000	9月	2,900,000	10月	3,000,000	11月	3,100,000	12月	3,200,000	1月	3,300,000	2月	3,400,000	3月	3,500,000
月	累計人数																										
4月	2,300,000																										
5月	2,400,000																										
6月	2,500,000																										
7月	2,600,000																										
8月	2,750,000																										
9月	2,900,000																										
10月	3,000,000																										
11月	3,100,000																										
12月	3,200,000																										
1月	3,300,000																										
2月	3,400,000																										
3月	3,500,000																										

貸スペース利用状況	
賑わい創出に寄与する貸スペースの利用は、年間で2,260件ありました。より集客できるイベントとなるよう各イベントのコーディネートを実施したり、団体同士のマッチングをすることで、様々な交流が生まれ、多様な市民	
	

(継続)	50款	25項	25目	分野: きずな	生涯学習部文化振興課 芸術文化係 Tel 77-6853
	芸術鑑賞会・市民ギャラリー企画展事業			[令和元年度事業費] 6,564 千円	

ゆかいな創作版画の展覧会と、親子で楽しめるオペラのコンサートを開催しました。

市民ギャラリー企画展事業 第19回共同巡回展
「見て、感じて、遊ぼう！はなが遊園地—府中市美術館のゆかいな創作版画コレクションより—」

事業概要

府中市美術館が所蔵する創作版画の展覧会を開催しました。ゆかいな作品たちが、自由に楽しい作品鑑賞の機会を提供しました。その他、版画に関するワークショップや、三河地域で活動する作家の作品展示も行いました。

【会期】令和元年6月8日(土)～7月15日(月・祝)
【会場】安城市民ギャラリー 展示室D・E
【観覧者数】2,369人(目標2,200人)

創作版画とは

描いたイメージを自分で版に彫り、自分で紙に摺(す)った木版画作品です。職人が分業して制作する版画と異なり、すべての工程を一人で行うので、作家独自の「味」が出るのが特徴です。



事業費決算額

巡回館負担金等 5,021千円
(巡回展助成額 2,588千円)

美術音楽

芸術鑑賞会事業
「こどもオペラ ヘンゼルとグレーテル」

事業概要

子育て中の親世代と子供に、普段出会うことの少ない観劇の機会を提供しました。幼少の頃から鑑賞体験を重ねた子供たちが成長した時、故郷にたくさんの思い出と愛着を持ってくれることでしょう。こうした鑑賞機会は、より多くの舞台芸術にも興味を抱ける豊かな感性を磨く礎となることでしょう。

【公演日】令和元年8月25日(日)
【会場】文化センター マツバホール
【入場者数】474人(目標350人)

こどもオペラとは

演劇と音楽によって構成される舞台芸術であるオペラを、鑑賞型要素(目で見て耳で聞いて楽しむ)と客席参加型要素(体で感じて楽しむ)をコンセプトに、0歳からの参加を可能にした親子で楽しむ参加型コンサートです。



事業費決算額

演奏委託料 980千円
その他(印刷費等) 563千円

(継続)	15款	10項	15目		分野: こども	
	保育園事業(中規模改修等工事) 民間保育所等支援事業				[令和元年度事業費] 1,870,547 千円	子育て健康部保育課 保育経営係 Tel.71-2273

**保育園等の施設や設備の老朽化、低年齢児を中心とした保育需要への対応として、
中規模改修等工事、民間保育所等の支援を行いました。**

■保育園事業(中規模改修等工事)

【事業概要】

園舎の老朽化等に対し、計画的に改修を実施し、建物の長寿命化を図るとともに、安全で快適な保育環境を整備しました。

【事業費】

事業費(工事請負費) (単位:千円)

工事名	事業費	対象園
中規模改修等工事	178,164	えのき保育園・赤松保育園
遊具更新工事	3,537	東端保育園
駐車場整備工事	14,914	新田保育園
門扉改修工事	8,047	城ヶ入保育園・高棚保育園
園路設置工事	7,125	小川保育園ほか



えのき保育園中規模改修(主体・電気・管工事)

■民間保育所等支援事業

【事業概要】

民間の保育園等の保育環境を充実するため、運営や施設の改修、設備の拡充に対し支援しました。

【保育園等への支援】

事業費	私立保育園等委託料	1,327,326千円
	私立保育園等運営補助金	331,434千円
対 象	保育園(12園) 幼保連携型認定こども園(4園)	

○私立保育園等運営補助金の活用例

てらベクリエイティブこども園改修工事

《事業概要》

施設の老朽化への対応及び地域の実情に合わせた定員設定とす
るため、一部園舎の改築工事を実施
(令和元年度、令和2年度の2か年工事)

《低年齢児の施設定員》

- ・改修前 51名
- ・改修後 63名

《補助額》

42,685千円(令和元年度分)

(新規)	15款	10項	15目	保育園費	総合計画：こども(子どもたちを社会で豊かに育むまち)
	保育園事業 (ICT化推進)				[令和元年度決算額] 5,325 千円

保育園業務のICT化を推進し、市民サービスの向上と保育士等の負担軽減を図りました。

○ 保育園業務支援システム

1 事業概要

保育園業務支援システムを公立保育園に導入し、スマートフォン等による欠席連絡を可能にするなど市民サービスの向上を図るとともに、保育士の業務負担軽減を図り、よりよい保育環境を提供しました。令和元年度は公立保育園1園(二本木保育園)に導入しました。

2 決算金額

5,325千円		
内訳	システム委託料	4,753 千円
	LAN配線委託料	432 千円
	端末設置用机	140 千円

3 導入効果

(1) 情報発信・連絡体制の強化

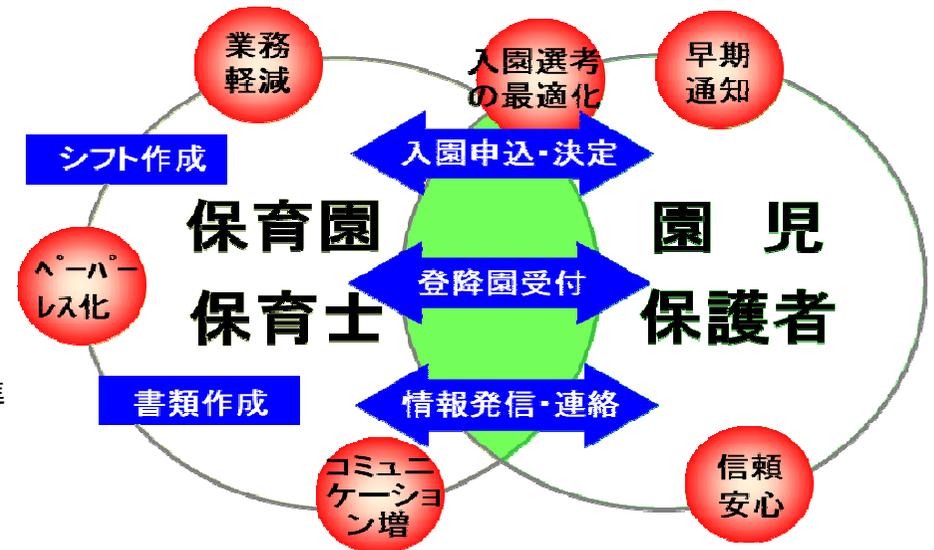
- ・保護者からの出欠等の連絡をWebで受付・管理
- ・園だより等の一斉配信 等

(2) 事務の効率化

- ・タブレット端末を使った登降園受付により、登降園時間を正確に記録・管理し、延長料金の計算に反映
- ・勤務シフト、指導計画、保育日誌等の書類作成機能の活用による負担軽減
- ・無線ネットワーク環境の整備による執務環境の向上とペーパーレス化の促進



タブレット端末設置(二本木保育園導入機器)



(拡充)	50款	05項	15目	教育指導費	分野: こども	教育振興部学校教育課 研究係 71-2254
	部活動支援事業				[令和元年度事業費] 1,446 千円	

部活動指導の充実を図るとともに、教職員の業務負担軽減のために部活動指導員の配置を拡充します。

1 事業実績

中学校における部活動指導体制の充実を図るために、中学校の部活動に部活動指導員を配置しました。部活動指導員には、専門的な知識・技能を有する地域の人材を活用し、生徒の調和のとれた「心技体」の向上を図りました。また、部活動の顧問を担う教員の負担を軽減し、教員の「働き方改革」を推進しました。各中学校の配置希望をもとに配置を拡大し、運動部だけでなく文化部にも事業の拡充を図りました。

2 事業の効果

指導員の配置により、部活動指導体制の充実を一層図ることができました。

- ・専門的知識に基づく技術の向上
- ・生徒の能力に応じた適切な練習法の導入
- ・想定される事故、けがの未然防止

指導員の配置により、教職員の部活動指導に係る時間等、業務負担の軽減を図ることができました。

- ・本来、週休日である土・日の時間の確保
- ・経験のない競技の指導に対する心理的負担の軽減



3 配置実績

実施年度	配置校数と実施種目	配置人数
令和元年度	5校7種目(軟式野球・ソフトボール・ソフトテニス・卓球・ハンドボール・剣道・吹奏楽)	11人
平成30年度	2校5種目(軟式野球・ソフトボール・ソフトテニス・卓球・ハンドボール)	6人

4 生徒の感想

- ・足の運び方やラケットの向きなどを見ていただけるので、意識しながら練習ができ、よかったです。
- ・試合中には的確な技術アドバイスがもらえます。練習中にわからないところがあるとすぐに聞くことができます。
- ・バッティングや守備のわからないところを細かく教えていただいています。
- ・これまでになかった練習ができるようになり、練習の幅が広がったので、とてもうれしいです。

(新規)	50款 50款	10項 15項	05目 05目	学校管理費 学校管理費	分野: こども
	小中学校普通教室等空調設備設置事業				[平成30年度繰越事業費] 2,996,501 千円

良好な学校環境とするための普通教室等への空調設備の設置が終了しました。

1 事業概要

小学校21校・中学校8校の全校に普通教室・特別支援教室・特別教室等の暑さ対策として、空調設備(冷暖房)を設置しました。

設置機器 : ガス式空調機(GHP) 使用燃料 : 都市ガス使用校 22校、プロパンガス使用校 7校

設置室数

小学校	普通教室・特別支援教室	419 室
	特別教室(*1)	75 室
	特別活動室等(*2)	96 室
	小計	590 室
中学校	普通教室・特別支援教室	178 室
	特別教室(*1)	58 室
	特別活動室等(*2)	53 室
	小計	289 室
	合計	879 室



温湿度計



教室内
室内機



室外機

(*1) 理科室、図工室、美術室、家庭科室、被服室、調理室、技術科棟(木工室、金工室)など

(*2) 配膳室(1階のみ)、学習室、相談室、会議室など

2 事業費

		竣工	事業費(円)	
小学校1,2年生及び特別支援学級空調機設置工事		令和元年6月	764,642,160	1,948,312,743
小学校普通教室等空調機設置工事		令和2年3月	1,183,670,583	
中学校普通教室等空調機設置工事		令和2年3月	884,584,926	1,048,187,926
中学校特別教室等空調機設置工事		令和2年3月	163,603,000	
		計	2,996,500,669	
国庫補助金	冷房設備対応臨時特例交付金(1/3)		466,856,000 円	

(新規)	10款	05項	20目 23目	企画費 経営管理費	分野： 行財政	
	みらい協創フォーラム・ネーミングライツの実施				[令和元年度事業費] 3,000 千円	企画部企画政策課 公民連携係 71-2204

公民連携のあり方や実践方法について考えるみらい協創フォーラムを開催しました。
また、新たな財源確保策として、ネーミングライツを4施設に導入しました。

1 みらい協創フォーラムの実施

本市が目指す健幸都市の実現に向け、公共と民間が連携し、互いの強みを生かした市民サービスの提供や地域課題の解決を図る「公民連携」による取組を一層推進していくことが必要です。本フォーラムでは、多様な人々の出会いや交流、クリエイティブな対話を通じたイノベーションの創出に向けて、公園や道路などの開かれた「公共空間」の活用を民間主導の公民連携で取り組んでいる第一人者、実践者の方々と交え、安城市における公民連携のあり方や実践方法について考えました。この成果を、令和2年度の公民連携事業の実施に繋げていきます。

- 開催日 令和2年2月4日(火)
- 開催場所 アンフォーレ本館
- 講師 青木 純 氏 (株)まめくらし代表取締役、(株)nest代表取締役等
村瀬 亮 氏 (株)スノーピークビジネスソリューションズ代表取締役
- 参加者数 145名



2 ネーミングライツの導入

- 目的 市が所有する公共施設を有効活用することで、新たな自主財源の確保と、この財源を活用した施設利用者・市民へのサービスを向上させることを目的としています。
- 導入施設



デンソーブライトペガサスタジアム
(令和元年10月1日から10年間)



東祥アリーナ安城
(令和元年10月1日から10年間)



へきしんギャラクシープラザ
(令和2年4月1日から5年間)



安田塗装工業株式会社ブリッジ
(令和2年4月1日から5年間)